

令和6年度事業報告

事業概要

令和6年度は、「会員増強」「就業開拓」「安全・適正就業の徹底」「普及啓発の推進」「会員の就業技術の向上」「フリーランス法（「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」）への対応」などを重要課題として、個々の事業に取り組みました。特に、フリーランス法（令和6年11月施行）の的確な対応を図るため、発注者と会員との間で業務委託に係る契約が成立するように、契約方法を見直す旨の基本方針が厚生労働省から示されたことから、令和7年4月より、順次、新たな契約方法に移行できるよう準備を進めました。以下、令和6年度事業の概要について報告します。

1 会員増強

令和6年度は、会員の積極的な声かけのほか、チラシの新聞折込みや自治会を介した隣組回覧、自治会掲示板でのポスター掲出、入会説明会を見直し、従来の西地区（ハローワーク）での開催に加え、女性理事による女性限定の入会説明会を行うなど会員の獲得に努めました。

また、ゴールド会員制度や夫婦会員会費割引制度などの推奨により、会員拡大と退会抑止の両面から会員増強に努めました。（ゴールド会員登録者は31人、夫婦会員会費割引制度の適用者は60人）

【会員の状況】

令和7年3月31日現在の会員数は679人で、年度中に94人の入会と、80人の退会があり、令和5年度と比べ、会員数が14人増加しました。

また、会員の平均年齢は、男性75.8歳、女性75.6歳で、令和5年度に比べ、全体で0.2歳上昇しました。

	男性	女性	合計
令和7年3月31日	432人	247人	679人
入会員数	57人	37人	94人
退会員数	52人	28人	80人
平均年齢	75.8歳	75.6歳	75.7歳
令和6年3月31日	427人	238人	665人
入会員数	44人	22人	66人
退会員数	53人	29人	82人
平均年齢	75.5歳	75.6歳	75.5歳

2 就業開拓

健康で働く意欲のある会員の就業ニーズに応えるため、行政機関や事業所、家庭への訪問、チラシの新聞折り込み、会員からの紹介、入札への参加など就業機会の確保や開拓に取り組みました。

また、請負や委任で受注できない派遣事業については、適正就業の観点から、事業所に丁寧な説明を行い、派遣への転換を働きかけたほか、2年連続で大幅に上昇した最低賃金を反映させた就労条件を提示するなど、派遣就業の拡大に努めました。

しかしながら、派遣から直接雇用への見直しが行われた事業所もあり、派遣事業については、令和5年度に比べ契約金額が大幅な減額となりました。

【請負・委任】

請負・委任については、契約件数は3,947件で、契約金額は3億5827万円となり、令和5年度に比べ、契約件数は404件減少しましたが、契約金額は、単価の引き上げや事務費の見直しにより、1399万円の増加となりました。

項目	契約件数 (件)	契約金額 (千円)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	就業延人員 (人)
令和6年度	3,947	358,270	623	91.8	64,036
令和5年度	4,351	344,271	618	92.9	65,496
増減数	△404	13,999	5	△1.1	△1,460
前年比(%)	90.7	104.1	100.8	98.8	97.8

【労働者派遣】

派遣事業については、令和6年度の契約金額は1739万円で、令和5年度と比べ621万円の減少となっております。

項目	契約件数 (件)	契約金額 (千円)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	就業延人員 (人)
令和6年度	18	17,396	38	70.4	3,081
令和5年度	22	23,610	59	100.0	4,290
増減数	△4	△6,214	△21	△29.6	△1,209
前年比(%)	81.8	73.7	64.4	70.4	71.8

【職業紹介事業】

令和6年度の実績はありませんでした。

【主な事業】

（１）生きがい型介護予防事業（なごみ倶楽部）

近くにお住まいの高齢者を対象に、高齢者の閉じこもりや社会的孤立感を解消するとともに、生きがいづくりや介護予防を図るため、介護予防体操やレクリエーション活動などサロン事業（なごみ倶楽部）を交流サロン等で実施し、令和６年度は、延べ７９８人の利用がありました。

（２）高齢者まると支援事業

暮らしの不便を感じている高齢者に寄り添い支援するため、高齢者世帯を対象にあらかじめ、高齢者世帯とマッチングした地域の会員が、月１回、家庭を訪問し、要望により３０分以内のワンコインサービス（１回５００円）を行う「高齢者まると支援事業」ですが、令和６年度は、１３１件の利用がありました。

（３）デジタル技術の活用

センターと会員とのコミュニケーションツール「Smile to Smile」への登録・使い方講習会を開催し、スマートフォンやパソコンから、仕事の内容や配分金明細が確認できるサービスを本格始動させました。令和７年３月３１日現在、３４７人の会員が登録しています。

そのほか、ホームページやショートメールも活用し、会員に仕事の就業情報などの迅速な情報伝達を行いました。

３ 安全・適正就業の徹底

（１）事故の状況

令和６年度の事故件数は１０件で、傷害事故が５件、賠償事故が５件となり、令和５年度に比べ、合計で１件増加しました。

傷害事故では、「転倒」「打撲」「熱中症」「交通事故」などが発生し、賠償事故は、「除草中の飛び石」による自動車の損傷や就業場所での「器物破損」、派遣先での「運転中の物損事故」などでした。

一方、機械刈除草班では、飛び石防止の取り組みの徹底により、令和４年度から３年連続で７つの除草班の「飛び石事故ゼロ」を更新しました。

（２）安全・適正就業

就業中や就業途上の「事故ゼロ」を目標に、安全・適正就業対策委員会、除草作業及び剪定作業の安全講習会の開催、安全パトロールの実施、安全資器材の充実、作業前の安全点検及びミーティングの徹底に取り組みました。

- ①安全・適正就業対策委員会の開催 定例会議 4回
- ②事故調査委員会の開催 1回
- ③安全標語の募集等、安全意識向上のための普及啓発事業
 - 安全標語募集（4月1日～4月26日） 18人 37点応募
 - 除草作業安全講習会等の開催
 - 刈払機取扱作業安全衛生教育の実施
- ④会報誌「シルバーまいづる」による安全意識の啓発 毎月
- ⑤安全パトロール 計5回
 - 危険防止の指導と安全保護具着用等の確認
- ⑥除草班等への安全用具の貸与等
 - 安全用具の貸出
 - 自走式草刈機 5台、養生用ネット 80枚

4 普及啓発の推進

（1）「2024シルバーフェア」の開催

令和6年11月16日（土）、センターの魅力を地域に発信するため、「2024シルバーフェア」を開催しました。

事務所前では、新鮮野菜や新米、豚汁、炊き込みご飯、万願寺甘とうの炭火焼などの販売やキッズコーナーを、館内では、アロマハンドケアや会員入会案内、絵画展、会員互助会によるかふえ&ミニコンサート（コーラス・フルート・サックス・ギター演奏）、絵手紙や書道などの作品展示を行い、市民、会員及びその家族、OB会員など延べ600人が来場され、スタッフ73人で対応しました。

（2）ボランティアの実施

「シルバー普及啓発促進月間」の一環として取り組んだボランティア活動では、地域班を中心に河川敷の清掃作業や通学路の除草、校外マラソンの見守り等に会員36人の参加がありました。

（3）交流サロンでの催し

交流サロンでは、会員や市民の交流の場として、趣味などの作品展示や音楽演奏などを行いました。

【催し物】

項目	開催日	参加人数
沖縄三線講座 発表会	3月4日	20人
ロッキーと音楽仲間によるほんわかコンサート	3月11日	25人
計		45人

【展示会】

項目	開催日	来場者数
手芸・パッチワーク講座作品展	4月3日～5日	67人
クラフトバンド作品展	4月16日～18日	89人
なごみ倶楽部作品展	6月17日～21日	67人
絵画展	11月12日～20日	246人
計		469人

【催し物】【展示会】の来場者 合計 514人

(4) 対外的なイベント・コンサートなどに参加

交流サロンの枠を超えて対外的なイベントに参加し、積極的にシルバー人材センター事業のPRを行いました。

内容	場所	開催日
まなびあむ 夏ふえす	まなびあむ	7月21日
三宅自治会 秋の夜長のコンサート	三宅集会所	10月4日
ちょっとコンサート	西市民プラザ	10月12日
三笠地域 ふれあいフェスティバル	三笠小学校	11月23日
東地区ふれあいサンデー わかばコーラス	舞鶴市総合文化会館	11月17日
夢と生きがいの作品展 懐かしの音楽演奏	城南会館	12月13日
大浦いきいきセミナー こころ豊かにミニコンサート	大浦会館	12月13日
Xmas ちょっとコンサート	城南会館	12月21日
ちょっとコンサート	まなびあむ	3月29日

(5) 独自事業の拡充

センター会員が独自の創意と工夫により企画し、自ら実施する独自事業では、会員手作りの野菜や手芸品などをセンター事務所前に「ふれあいショップ」として出店し、販売しました。

また、技術をもった会員が講師になり、市民を対象に従来の「フラワーアレンジメント」「沖縄三線」「英語発音」「手芸・パッチワーク」「イラスト・似顔絵・デザイン」講座に、令和6年度は、新たに「やさしい水彩画・水墨画」「クラシックギター」「クラフトバンド」講座が加わり、合計8つのいきいき講座を開設しました。

(6) 女性役員を中心に組織する「すみれの会」の支援

会員同士のつながりやシルバー事業の発展と地域貢献を目的とした「すみれの会」の自主活動を支援しました。主な活動は、マスコットを作る会、アロマハンドケア、花いっぱい運動、イベントへの参加などで、多くの会員が参加し、シルバー事業の発展に貢献しました。

(7) 地域貢献・社会貢献

会員が身近に取り組める地域貢献、社会貢献として、ユネスコ世界寺子屋運動、ユニセフ募金、舞鶴ちゃった花火大会「まい花火募金」の他、食品の無駄をなくし、必要な人の元に配布するフードバンク活動に協力しました。

なかでも、ユネスコ世界寺子屋運動には、たくさんの書き損じハガキや未使用切手が寄せられたことから、日本ユネスコ協会連盟より感謝状をいただきました。

5 会員技術の向上、人権啓発の推進

会員の技術、技能の向上を図り、就業機会の開拓及び安全就業の確保等を目的として、各種講習会等を開催しました。

【講習会・研修会等の実施状況】

講習会・研修会	内容	実施月日	参加人数
除草作業安全講習会	除草作業時の安全対策	4月4日	20人
剪定作業講習会	剪定技術の向上	4月4日	20人
家事援助就業会員茶話会	意見交換、交流	11月27日	11人
人権研修会（京シ連主催）	人権の啓発	12月2日	27人
託児就業会員茶話会	意見交換、交流	2月26日	19人
Smile to Smile 講習会	登録・使い方	4月～3月	224人
賞状の書き方講座	技術習得・継承	4月～3月	32人